

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業			事業番号	017-018
担当部署名	建築都市局	局	交通部	部	交通政策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5. 強しなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	平成 4 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市おでかけ応援利用者証条例／堺市おでかけ応援利用者証条例施行規則／堺市バス利用促進総合対策事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市民（路面公共交通利用者） ※対象者数：おでかけ応援制度対象者数（65歳以上の堺市民）（令和7年度末）				対象数	単位
						228,152	人
7	事業の目的	バスや阪堺電車等の利用促進や利便性向上につながる取組を実施することにより、路面公共交通の維持・活性化を図ることを目的とする。					
8	事業内容	1. おでかけ応援制度 ・満65歳以上の市民が市内の路線バスや阪堺電車を1乗車100円で利用できるおでかけ応援制度を実施 2. バス利用促進等総合対策事業 ・バス事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取組に対して補助を実施 3. ソーンチケット事業・周知広報事業 ・南海バス、阪堺電車が利用できる「堺おもてなしチケット」の発行、周知広報等を実施 4. おでかけ応援制度の無償化 ・物価高騰等の影響を受ける高齢者への支援及び公共交通の利用を促進するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、市内の路線バス及び阪堺電車を1乗車100円で利用できるおでかけ応援制度を期間限定で無償化					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社、阪堺電気軌道株式会社					
10	公民連携・協働事業	民間路面公共交通事業者と共同事業として実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	おでかけ応援制度の延べ年間利用者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	5,563,000	5,332,000	6,000,000	5,340,000
			実績値	5,331,372	5,339,732		
達成率	96%	100%					
当該指標を選定した理由		利用者数が増加するほど、路線の維持に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		R6年度は新型コロナ拡大前のR元年度実績の9割、R7年度はR6年度実績と同水準。R8年度は前年度実績と同水準（おでかけ応援制度の無償化による増進効果を考慮）。R12年度はR7年度実績と同水準。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	おでかけ応援カード保有率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	72	73	73	
			実績値	73	73		
達成率	101%	100%					
当該指標を選定した理由		制度目的（公共交通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進）の実現につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		$(\text{前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数}) \div (\text{前年度3月末時点の65歳以上の人口})$					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		公共交通利用促進事業				事業番号		017-018			
Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費（a）	515,499		516,931		558,590		665,782		
		国支出金	41,605		0		18,035		99,085		
		府支出金	0		0		0		0		
		市債	0		0		0		7,900		
		その他（ふるさと納税）	0		0		0		47,542		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	8,878		9,109		9,723		9,671		
14	人件費（b）	25,860		24,230		19,200		21,120			
		21,690		21,690		21,690		21,690			
15	年間経費（c）=(a)+(b)	541,359		541,161		577,790		686,902			
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		おでかけ応援制度等負担金	R7	決算	510,053	466,682	バス利用促進等総合対策事業補助金	R7	決算	11,200	0
			R8	予算	518,821	481,953		R8	予算	12,880	0
		おでかけ応援制度負担金（無償化分）	R7	決算	0	0	三国ヶ丘駅前広場バスロータリー関係工事	R7	決算	0	0
			R8	予算	297,573	0		R8	予算	4,000	1,000
		おでかけ応援カード発行等委託料	R7	決算	10,186	2,844	堺市公共交通路線維持支援金	R7	決算	123,078	34,322
			R8	予算	11,129	3,206		R8	予算	0	0
		おでかけ応援ICカード管理システム改修委託料等	R7	決算	3,850	550	郵便料	R7	決算	5,562	3,233
			R8	予算	6,750	1,150		R8	予算	6,682	4,168
		おでかけ応援ICカード申請書印刷発送準備等委託料	R7	決算	1,364	1,364	その他	R7	決算	489	489
			R8	予算	1,750	1,750		R8	予算	458	458
		Ⅳ. 事業の効率性									
単位当たり経費											
17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度				
	①	おでかけ応援制度の延べ年間利用者数			人	5,331,372		5,339,732			
	②	上記①にかかる年間経費			千円	541,161		552,624			
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	102		104			
算出についての説明等											
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	令和6年度と令和7年度を比較すると、延べ年間利用者数及び年間経費はほぼ横ばいとなっているため、単位当たり経費も横ばいとなっている。										
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	おでかけ応援制度以外にもノンステップバスの導入に対する補助、燃料費等の高騰による負担増に対する路面公共交通事業者への支援等を実施し、公共交通の利用促進等を図ることにより、公共交通の維持確保に寄与した。										
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	おでかけ応援制度は、堺市の65歳以上の高齢者に定着しており、令和3年度以降利用者数は年々上昇している。また、公共交通の利用促進にもつながり、路面公共交通の維持にも寄与していることから、本事業の必要性及び有効性は高いと考えられる。								
	有効性	■ 高い □ 低い									